

									2 「フォームカバー（義足用）」については、左記使用年数にかかわらず6月とすること。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

備考

- 1 本表の価格は、医師の採型技術料を含まないものであること。
- 2 耐用年数は、通常の装着状態において、当該材料・部品が修理不能となるまでの予想年数を示したものであること。

(3) 装具

区分	名称	基本構造	使用材料・部品及び工作法	価格	備考
下肢装具	股装具	骨盤から大腿下部に及ぶもの A 金属枠 骨盤部が金属枠で作られているもの。S型支柱のものも含まれること。 B 硬性 骨盤及び大腿部が陽性モデルによってモールドされたもの。補強用の支柱付きのものを基本とすること。 1 不燃性セルロイド 2 皮革 3 プラスチック C 軟性 布を主材料としたもの	アの基本工作法により、工及びオによりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。	イの採型区分によるウの基本価格に工及びオのそれぞれ使用する材料・部品の算した額とすること。	
	先天性股脱装具	先天性股脱に用いられる装具で、両側下肢に及ぶものを基本とすること。 A リーメンビューゲル型（パブリック帯） 布又は皮革の帯によって股関節を屈曲位に保つもの B ホンローゼン型 三本の金属板の組合せで、股関節を開排位に保つもの C パチェラー型 両大腿及び下腿コルセットを金属支柱でつなぎ、股関節を外転、内旋、屈曲位に保つもの D ローレンツ型 股関節を開排位に固定保持するもの			障害児に限る。

	E ランゲ型 股関節を外転位、軽度屈曲位、強い内旋位に固定保持するもの	
内反足装具	A 短下肢装具型 下腿の上部から足底に及ぶもの。 詳細は、短下肢装具に準ずること。 B 靴型装具型 詳細は、靴型装具に準ずること。 C デニスブラウン副子 両側の足部を横棒によって結ぶもの 1 足底板型 アルミニウムにフェルトの内張りをしたものを基本とすること。 2 足部おおい型 3 靴型装具型	障害児に限る。 外反足装具もこれに準ずること。
長下肢装具	大腿上部より足底に及ぶもの A 両側支柱 下肢の長軸に沿って内外の両側に金属の支柱をもち、大腿部と下腿部においてそれぞれ両支柱を結ぶ一つ以上の金属の半月をもつもの 1 高力アルミニウム合金 2 鋼 B 片側支柱 下肢の長軸に沿って内外のどちらか一方に金属の支柱をもつもの 1 高力アルミニウム合金 2 鋼 C 硬性 陽性モデルを用いてモールドされたもの。内外の両側に金属の支柱と両支柱を結ぶ金属の半月で補強されているものを基本とすること。	